HANACO
はなこ
HANA COMMUNICATION PAPER
http://www.fukuhana.jp/

2014
1・10
No.21

［特集］
消費拡大へ向けた プロモーション活動の取組

● 新春挨拶
◎ ふくおか花浪漫 2013
◎ いい夫婦の日 PR
◎ 未来のフローリストたちとのフラワー産地交流会
◎ 平成 25 年度福岡県花き品評会「産物の部」を開催！
◎ 花やみどりの大切さを感じる / 花育活動
◎ 大相撲九州場所で福岡県産花きを紹介
● 部会活動報告
● 1 月 4 日に初市が行われました
● PICK UP FLOWER SHOP・あなたの街の花屋さん

しめ縄、鏡餅、門松などを飾り、
一年のはじまりを祝うのが日本古来のお正月。
これらの「正月飾り」には大切な意味があります。
しめ縄は家に邪気が入るのを防ぐために張り、
鏡餅は神様へ供えるもの。
そして玄関に飾る門松は
幸福を運ぶ新年の神様を家に迎え入れるための目印であり、
依代（よりしろ）ともいわれています。
松の緑がすがすがしく
端正な門松に福を招いて、
新しい年のはじまりです。

新春挨拶

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は組合員の皆様には一方ならぬご理解とご協力を賜りましたこと、厚くお礼申し上げます。

さて昨年は、梅雨の大雨、夏場の酷暑、度重なる台風の上陸、晩秋の早期気温低下など異常気象が続き、近年の中でも際立った天候不順の年でした。

安倍総理が打ち出した三本の矢（金融緩和、財政改革、成長戦略）で、トヨタをはじめとする自動車産業及び電化製品等の大企業は順調に回復基調にありますが、中小企業にはまだまだ届いておりません。

円安の影響により、輸入品を中心に燃油価格や生産資材及び食料品までもが値上げされ、一般消費者を含む花き生産者等にはたいへん厳しい状況が続いております。

当花卉農協は、6月の通常総代会におきまして、中期経営計画をご承認いただき、3ヵ年の初年度として計画の推進に向け部署ごとの目標設定と計画に沿った取組みを進めてまいりました。

中期経営計画は、①花卉農協の経営基盤強化、②消費者を起点とした販売戦略の策定と実践、③組合員皆様の経営を支える各事業の取り組みの充実、④花き消費拡大推進事業の確立と大きな4つの柱からなっております。

この柱を軸に設定した目標に向けて行動することが、組合員の皆様を支える花卉農協最大の使命と痛感しております。

今年の花き業界は、発展の年となるように昨年から働きかけを致し、自由民主党フラワー産業議員連盟が結成され、衆議院及び参議院議員の120名の方々が参画をいただいており、福岡県からも5名の議員の方々にお願いしております。

これにより、「花きの振興に関する法律（仮称）」の創設が農林水産部会で承認され、次期通常国会に提出、議員立法による制定がなされるようになっております。

この法案には、花きの需要低迷を打破するための花きの生産、流通、輸出、文化の振興及び消費拡大に関する要望等が組み込まれており、花き業界としても念願の法律であり、1日も早い法案成立を心より願っております。

本年4月からの消費税アップが目前に迫る中、「花きの振興に関する法律」は、非常にありがたい追い風となることと思います。しかし、法律に頼ってばかりはいられません。我々、花き産業に携わる者が、自ら行動し、盛り上げて行かなければなりません。

そのために本年も引き続き、花卉農協中期経営計画の目標達成に向け役職員一丸となって取組んで参ります。

組合員皆様のより一層のご理解と、ご支援・ご協力をお願い致しますと共に、皆様方のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、新年のごあいさつと致します。

代表理事組合長
原 坦 利

【部会活動報告】

きく部会
鹿児島（JAそお）・熊本（JAくま）へ県外視察研修会実施

きく部会は、11月13日（水）・14日（木）の2日間、鹿児島（JAそお）および熊本（JAくま）で県外視察研修会を行いました。1日目の鹿児島では、まずスプレー菊生産者のもとへ。40aの圃場は、年2作体系で10aあたり5万5000本の出荷本数があり、電照ランプは6mおきに1個の割合でLED電球を使用して、どのくらい節約できるかを調査されたり、また、市の補助もあって昨年からヒートポンプをスプレー菊の生産者46名に対し42台導入し、重油代92円/ℓ、夏も冷房22℃設定で使用しているそうです。

その後、70aの圃場で小菊を栽培している生産者や、輪菊の低温開花性品種を栽培している圃場を訪ね、1日目は3か所を視察しました。JAそおでは、花き生産者が散在していましたが、花卉部会として統一させて野菜作りの生産者や新規就農者にも花卉部会の加入を勧め、活発な部会活動を行っているように感じました。

2日目の熊本では、40aある輪菊生産者の圃場を訪ねました。JAくまの部会は、発足当初は年末のみの出荷でしたが、今は周年栽培をめざして努力されています。6～7月は「精の玉」、8～9月は「金星」、秋からは「光玉」など、花色が黄色だけの輪菊産地として知名度を上げています。現在、菊部会は19名で、年間約100万本の出荷をめざしているとのことです。

一般草花部会
糸島農業高校でフラワーアレンジメント教室を開催！

一般草花部会では、11月22日「いい夫婦の日」に糸島農業高等学校にてフラワーアレンジメント教室を開催しました。第2回目となるこの教室は、昨年は1クラスの参加でしたが、今年は2クラス約80名の生徒が参加しました。花材はバラ、トルコギキョウ、カーネーション、ストック、レザーファンを使い、「みどま花園」の三苫道生先生ご指導のもと、生徒の皆さんは約1時間かけてドーム型のアレンジメントを真剣な表情で製作していました。

1月4日に初市が行われました

1月4日（土）午前7時15分から新年最初の切花、鉢物の初競りが開始されました。

福岡花市場では、競り前に組合長の原坦利が挨拶、続いて福岡花商協同組合理事長の満汐 政弘様、福岡生花仲買組合長の釘本 保様から挨拶を頂戴しました。

さらに、当花市場へ出荷していただいているJA糸島、JA田川、JAにじ、JA福岡市の生産者約60名のみなさまも初競りに参加。代表してJA糸島 専務理事 岡本 隆夫様から挨拶を頂戴しました。

原組合長は、冒頭、「今年の花き業界は、自由民主党フラワー産業議員連盟が結成され、農林水産部会で承認された『花きの振興に関する法律（仮称）』の創設を次期通常国会に提出、議員立法による制定がなされれば、花きの需要低迷を打破するための花きの生産、流通、輸出、文化の振興及び消費拡大へ向けた法案成立を心より願っている」と話し、ご来賓の皆さまがたは、「景気回復の実感はまだまだありませんが、今後も生産者・市場・花商が三位一体となって進めていくことが肝要である」と一様に述べられていました。

PICK UP FLOWER SHOP vol.21

こじんまりとした店内。ところ狭しと花が並ぶ

西鉄高宮駅から徒歩10分の当店は周囲に住宅地があり、需要の多くは自宅用。必ず仕入れなければならない花がないため、自分の目で実物を確認しながら、その日の気分で仕入れることもあります。

当店では、お墓参りの代行や鉢の植え替え、毎週花を届ける「月極デリバリー」などのサービスを行っています。気軽に利用できることもあって高齢者はもちろん、ファミリーや一人暮らしのお客さまからも好評です。

近年はSNSやブログを通じて、お客さまや生産者の方と直接やりとりができる時代です。今後、生産者と消費者の距離は今まで以上に近づき、流通方法も変わってくると思われます。花業界は生産者、花市場、小売店の三者があってこそ成り立つもの。流通については個々の利益ではなく業界全体のことを考え、現在の関係性を保ちながら、効率的でよりよい方法を築いていけるのが理想的ですね。

大池通り沿いにある

店主の好みで色の彩度が低い花が多い

FLOWER SHOP
アンズガーデン
（セリ番号216）

DATA
所在地:福岡市南区野間3-6-3
TEL:092-553-0565
FAX:092-553-0565
営業時間:10:00～19:00
（祝日は11:00～19:00）休み:日曜

［はなこ］1月号 2014年1月10日発行
通巻110号
●発行・編集
福岡県花卉農業協同組合
〒812-0064
福岡市東区松田1丁目3番20号
TEL：092-621-6767
FAX：092-611-0139
Email:info-fukuhana@ja.fukuhana.or.jp
http://www.fukuhana.jp
●企画・印刷（株）プリテックフクオカ
編集・（株）クロス編集事務所
デザイン・シゲ デザイン
HANACO はなこ

～イベント情報～
2014北九州花ロマン祭
●日時：2014年2月2日（日）9：30～17：00
●場所：北九州花市場

特集
消費拡大へ向けたプロモーション活動の取組

ふくおか花浪漫 2013【福岡市】

2013年の10月から12月にかけ、福岡・北九州都市圏を中心に消費拡大へ向けた様々なプロモーション活動の取組を紹介します

福岡市中央区の天神地下街イベントコーナーで11月16日（土）と17日（日）に行われた「ふくおか花浪漫2013」。福岡県花商団体連合会主催による今年のイベントのテーマは「花で伝える気持ち」です。お祝い事で花を贈る機会は多いのですが、ここ最近花業界で推している「フラワーバレンタイン」や「いい夫婦の日」など、気持ちを伝えるときに花を添えることがもっと日常的に、そして効果的であることに気づいていただけるよう、このテーマを設定しました。

福岡県産の花を中心に、会場をバレンタインデーや母の日、誕生日、卒業・入学、お供え、いい夫婦の日などにテーマ分けし、ブースごとに装飾を行いました。

11月16日は、福岡県フラワーデザイン品評会のファイナル競技が行われ、10月16日の予選で勝ち抜いたファイナリスト14名が出場しました。作品のテーマは「情熱的ブーケ」。日常では見られないフラワーデザインのパフォーマンスに対し、来場者からあたたかい声援や拍手が上がりました。また、審査員の評価とは別に来場者の人気投票も行い、17日の17時に発表がありました。

福岡県フラワーデザイン品評会ファイナル競技

11月17日には、来場者を対象にワークショップを開催。テーマは「花束に気持ちを込めて」。先着150名が無料でミニブーケを製作しました。ブーケは約15分で完成。できあがったものは、花にふれることの体験や花を持って歩くことを体感していただき、生活に花があることへのきっかけづくりになってほしいという願いからお持ち帰りいただきました。

さらに、会場内に11月22日「いい夫婦の日」のキャンペーンブースを設け、PR活動も展開。今回は、お花を贈っているイメージの"顔だしパネル"を設置しました。スマートフォンや携帯電話などで写真を撮って、その情報をツイッターやフェイスブックなどのSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）やブログなどに掲載してくれるようはたらきかける…インターネット内で「いい夫婦の日」を拡散させる新しいPR告知も行われました。

11月22日「いい夫婦の日」"顔だしパネル"

11/22 「いい夫婦の日」には花を贈ろうPRイベントを開催【北九州】

11月15日（金）～17日（日）にかけ、北九州市にあるリバーウォーク北九州にて11/22「いい夫婦の日」には花を贈ろうキャンペーンが開催されました。会期中、北九州生花商協同組合青年部の皆さまが製作したフラワーオブジェには、記念撮影のためにスマートフォンやカメラを向けるカップルや親子がたくさんいました。また、花のもつ癒しや安らぎをもっと知ってもらうため、日頃の感謝の気持ちを50字程度にしたためた「大切な人への花にそえる一行メッセージ」の募集を2日間行い、約200名の方が参加いただきました。

11月17日（日）には事前募集したフラワーアレンジメント教室も開催し、休日でにぎわう商業施設でいいPRとなりました。

大切な人への花にそえる一行メッセージの応募

フラワーアレンジメント教室の実施（11/17）

未来のフローリストたちとのフラワー産地交流会

糸島地区で生産された花きを使ったアレンジメント実習

10月30日、JA糸島花き販売委員会・JA全農ふくれん・福岡花市場の3者共同主催で、日本デザイナー学院フラワーコーディネート科、福岡南美容専門学校ブライダルプロデュース科の生徒23名の皆さんを招待した「フラワー産地交流会」が行われました。午前中は圃場視察を行い、午後からは現地で生産された花きを使用したアレンジメント教室を実施しました。

視察は糸島市にある2か所の圃場をまわりました。トルコギキョウ、ダリア、ケイトウほか、草花の生育状況や栽培の注意点などについて生産者の皆さまより説明があり、その後、圃場を見た生徒は疑問に感じたことを熱心に質問していました。昼食後は、吉本フラワースクールの吉本先生の指導で、生徒の皆さんが持ち込んだ器に一人ひとり個性のあるフラワーアレンジメントを製作しました。

この産地交流会は今回で第5回目を迎えました。以前より行っていた花市場や花屋見学に加え、実際に現地へ足を運んで花の生産方法などを見たり、苦労話などを聞いたりすることで、未来のフローリストたちに花を大切に扱う心や花き業界全体の流れを知ってもらうことが、この交流会の目的です。

トルコギキョウを栽培している圃場視察

草花を栽培している圃場視察

平成25年度福岡県花き品評会「産物の部」を開催！

福岡県下全域を対象とした福岡県花き品評会は、花き生産技術改善と品質向上を図り、経営の確立と流通改善、消費拡大を目的に昭和27年から開催されている品評会です。

この品評会は、夏秋咲きギク、電照ギクの「技術・ほ場の部」と、切花、切り枝、鉢物類の「産物」の部があります。「技術・ほ場の部」は生産現場での審査となりますが、「産物の部」は生産物を福岡花市場へ持ち込んでの審査です。11月29日に約200点が持ち込まれ、生産者の皆さまの心を込めた、熱意のこもった出品物が一堂に会しました。厳正な審査終了後、11月30日と12月1日に糟屋郡粕屋町のイオンモール福岡で、福岡県下ですぐれた花が栽培されていることをもっと一般の方に知っていただくため展示会を開催しました。会場内では、花きに親しんでいただくため花屋さんによる飾り方提案、フラワーアレンジメントのプレゼント抽選会、フラワーアレンジメント教室、フラワーバレンタン、フラワーオークション、フラワーバレンタインのPRブース、ふくおか花とみどりの絵画コンクール入賞作品展示と表彰式など、多彩なイベントが行われました。

もっと身近に花やみどりの大切さを感じていただこうと「花育活動」を実施！

福岡市と北九州市で、小学生を対象とした花育活動を開催しました。これは、もっと身近に花やみどりの大切さを感じることをとおして子どもたちの「やさしさ」や「美しさ」を感じる気持ちを育み、豊かな心を養うことを目的に四季を通じて活動をしているものです。

また、普段から花にふれることでその重要性を保護者にも再認識していただくこととなり、花きの消費拡大へ向けた取組みでもあります。

北九州市では、10月20日[日]に「秋のガーデニング教室」と題して小倉北区許斐町にある住宅展示場「RKBハウジングパーク小倉」の敷地内で開催しました。事前募集した21組の親子に参加いただき、北九州生花商協同組合田村さんご指導のもと、ガーベラやガーデンシクラメン、ビオラなど秋から春頃まで楽しめる花苗をポールプランターに寄せ植えしていきました。普段、土にふれることが少ない子どもたちは、一つひとつの花苗について興味深く先生に質問し、その感触を楽しんでいました。

福岡市では、JA福岡市のご協力で「福岡市中央区今泉の福岡市立中央児童会館で11月10日（日）に開催しました。事前募集した11名の小学生の参加があり、福岡花商協同組合杉尾さん、平野さんご指導のもと、福岡市西区北崎地区で栽培された花き（ガーベラ、ストック、カーネーションなど）を使いました。当日はJA福岡市北崎花き部会の皆さまも来場され、子どもたちのそばでアレンジメントのお手伝いをしていただきました。約1時間の講義でしたが、参加した子どもたちは笑顔いっぱいにアレンジを楽しんでいました。

大相撲九州場所で福岡県産花きを紹介。

11月10日（日）から11月24日（日）まで福岡国際センターで行われた「大相撲十一月場所」で、福岡県産の花きを展示しました。この展示は、花あふれるふくおか推進協議会が九州場所のお客様にもっと福岡県産の花きのPRしようと企画したもので、JA福岡市、JA筑前あさくら、JA糸島、JAにじ、JAふくおか八女のご協力のもと、各産地の花の紹介が行われました。